

個別最適な学びと 協働的な学び



ICTを活用した学びの一例

個別最適な学び



課題を設定し、情報収集の方法を選択します。シンキングツールを使ったり、ノートを使ったりしながら自分なりのまとめをします。自分のペースで、自分で選択肢ながら学習を進めます。

- 1 課題（かだい）の設定（せってい）
- 2 情報（じょうほう）の収集（しゅうしゅう）
 - ① 写真を決める。
 - ・自分で写真をとる
 - ・参考画像（さんこうがぞう）を使う
 - ・インターネットでさがす
- 3 整理（せいり）・分析（ぶんせき）

観点（かんてん）目をつけるところにそってメモに書き出す。
- 4 まとめ・表現（ひょうげん）

メモをもとに、表現（ひょうげん）工夫して書く

 - ・タブレットで入力してもノートに書いてもよい。
 - ・たとえ（～のような）
擬音（ぎおん）（ぽかぽか、ぐうん）などの言葉
 - ・〇〇文字以上（自分で文字数は決めよう）

協働的な学び



アプリを活用して、感想の交流をします。自分の感想について友達がコメントをくれたり、わからないことについて教えてくれたりします。また、ICTを活用することでそれらが即座に行うことができ、自分の学びにいかすこともできます。

